

# シエムリアップ MoiMoiライフ

ISSUE  
68

「Moi Moi」とはクメール語で「ひとつずつ、ゆっくりと」の意味。恵み豊かなカンボジアでのスローライフをお届けします。



小出陽子 (Yoko KOIDE)

一級建築士。2000年、UNESCO 遺跡保存オフィス建設のため、カンボジアに赴任。2005年シエムリアップにレストラン「Cafe Moi Moi」をオープンする。現在は、建築設計とレストラン経営のかたわら、JST (NGO、アンコール遺跡の保全と周辺地域の持続的発展のための人材養成支援機構) を運営し、農村地域の支援活動を行っている。

## MoiMoi Life in Siem Reap

### Junior High School of Village Opens!

The impact of the general election delayed the opening, but the new Bayon Junior High School finally opened. The school started with only first grade made up of three classes for 135 students, ranging in age from 11 to 19. We found out with relief that most students who graduated from the local elementary school were attending this new school. It was an unexpected pleasure to find out that most of these students wish to go onto high school. This school offers children in this rural community a glimmer of hope.

The problem from the very first day was the shortage of teachers. It is not possible to attract qualified teachers without resolving issues of wages and commuting, as well as making the school more attractive to work for.

## 村の中学校が開校した！

7月に行われた総選挙の影響が様々な形で連鎖し、カンボジアの学校の今年度新学期開始は2週間ほど遅れましたが、10月中旬、ついにバイヨン中学校が開校しました。

初年度は中学1年生3クラスのみのスタートで、生徒数は135名。年齢は、11歳〜19歳までとかなりの幅がみられます。

この中には、小学校卒業後、シエムリアップ市内の中学校は遠すぎて通えずに6年生を2回繰り返し、さらに昨年は家で仕事をしながら新中学校の開校を心待ちにしていた、というような生徒もいました。また、これまでは、地元の小学校を卒業しても、進学しない児童がかなりいたのですが、現時点ではほぼ全員がこの中学校に入学していることがわかり、創設に関わった我々としては、ひとまずほっと一息。さらに、少々気の早い質問かと思いましたが、中学卒業後の希望進路を尋ねたところ、多くの生徒が迷わず「高校に行きます！」と答えたことは予想外のことでした。これまで、村の

子供たちが中学・高校に進学しなかった理由は、働かなければならない状況に追い込まれていたからだけではなかったようです。このバイヨン中学校ができたことによって、農村部の子供たちの「希望のピース」がひとつ繋がったと感じた瞬間でした。

ところが開校初日から問題発生！生徒たちの「勉強したい！」という意欲は非常に高く、また教育熱心な校長が市の教育長によって選任されたのですが、一般教員が見つからないのです。カンボジアでは、まだまだ中学校教員が足りないということもあるのでしょうか、町から少し離れた学校では、給料や通勤などの問題で、なり手がいないようです。さらに、開校1年目で、まだ海のものとも山のものともつかない学校であることも理由のようで、今後、基礎教育を充実させるには、先生方にとっても魅力的な学校をつくる必要があると感じたのでした。